



野口 昌作 議員

テレビ会議など情報化は

町長

住民の生活向上に大切である



デジタル化で仕事改革

【野口昌】 新型コロナ対策がもたらした仕事改革で、デジタル化の進展は国も宣言している。

本町の計画は。

【町長】 シンククライアントシステム環境の整備は、行政サービスの安定供給をめざすもので、感染症のまん延時などには職員が在宅勤務を行い業務の停滞を最小限に抑える。

【野口昌】 テレビ会議

システムの導入は。

【町長】 3密を回避し感染症予防や大規模災害時に、本庁支所の拠点間で情報共有に役立つ。最近県でも参加しやすいことから、テレビ会議が開かれるようになった。

【野口昌】 情報化社会に向けた行政の構想は。

【町長】 住民が情報や生活がより便利になるよう取り組む。

【野口昌】 GIGAスクール構想の取り組みは。

【教育長】 構想は人工知能AIの急速な進化にともない、未来の新しい社会に対応できる子どもたちの育成をねらったもの。

文科省は数年かけて取り組むと表明していたが、非常に短期間での導入となった。

【野口昌】 導入の問題点とタブレットの大きさは。

【教育長】 問題点として1人1台のICT機器の取り扱い、教職員の早急な研修、持ち帰って家庭で学習する場合の通信環境の問題

などがある。タブレットの大きさは今のノートパソコン

より薄くて軽く丈夫である。



学習に使いやすいタブレット(手前)

学校での情報通信の ねらいは 未来社会に 対応できる子どもを